

## 令和5年度採用兵庫京大外科専門研修プログラム採用試験 小論文

我が国の良質な医療提供体制は、「病院勤務医の献身的な努力」に支えられてきたと指摘されます。勤務医の時間外労働の実態を見ると、11.1%が「脳・心臓疾患の労災認定基準における時間外労働の水準」の2倍となる年間1920時間（月160時間）を超えており（医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査、いわゆる10万人調査）、この超過重労働を放置すれば、医師の健康・生命を阻害し、ひいては地域医療提供体制も崩壊する恐れがあります。

そこで厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」は、医師の時間外労働上限を年間960時間（月80時間）以下とするなどの、いわゆる「医師の働き方改革」を押し進めています。しかし、現実の医療現場とくに外科系は、若手医師の労働力に支えられており、また時間外労働が認められなければ十分な研修ができないという意見もあります。

これから外科医としてトレーニングを積んでいく立場で、適正な労働時間の遵守と良質な外科トレーニングの遂行のためにはどのような対策が重要か、先生の考えを述べてください。（1500文字以内）